

		公表	事業所における自己評価結果			わいわいプラス町田教室 事業所番号 1353200395 実施年月 令和6年12月実地
事業所名	わいわいプラス町田教室		公表日 2026年2月2日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	発達支援室の広さを踏まえ、無理のない範囲で定員を適正に保っています。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	加配加算を活用し、支援が必要な児童への対応を充実させています。曜日により非常勤を配置しています。		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2	子どもが理解しやすい環境を整え、特性に応じた配慮を行っています。	無駄な段差がある為、危険な場合もある。ドアが重い	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	清掃を徹底し、換気・空気清浄機・オゾン等を活用して清潔を保っています。安全に過ごせるよう家具配置も工夫しています。		
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	静養できるスペースを確保し、必要に応じて個別対応ができる環境にしています。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0	意見を出し合える機会を設け、誰もが改善提案できる体制を整えています。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	個別面談で意見を伺い、会議等で共有して業務改善につなげています。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	意見交換の場で職員の声を集め、検討のうえ改善策を実行しています。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3	内部評価や利用者の声を取り入れ、サービスの質の向上を図っています。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	他法人との研修や法人内研修を通じ、職員の力量向上を支援しています。		
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	支援プログラムを公表されています。		
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	子ども・保護者の意向を反映し、客観的な分析に基づいて計画を立てています。		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	職員間で共通理解を深め、子どもの最善の利益を踏まえて計画を作成しています。		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	連携体制を強化し、計画に沿った支援を確実に行っています。		
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	標準化ツールと日々の観察を併用し、適応行動を多面的に評価しています。		
16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	ガイドラインに沿って必要項目を整理し、具体的な支援内容を計画しています。	必要項目の漏れ→チェックリスト化し、作成前後で確認。		
17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	職員が協働して活動プログラムを企画し、実施しています。			
18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	さまざまな活動を取り入れ、子どもが楽しめる工夫を継続しています。			

供 應	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	個別・集団のバランスを調整し、状況に応じた支援を提供しています。	集団活動が多く、個別活動は少ない。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	事前打合せで支援内容と役割を確認し、チームとして対応しています。	急変時に弱い→当日変更時の判断者・連絡フォローを決める。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	支援後は隨時振り返りを行い、気づきを職員間で共有しています。	口頭のみで残らない→簡易振り返りメモを作った 気付いたことは共有している。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	記録を徹底し、振り返りを改善に活かして継続的に見直しています。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	定期的にモニタリングを行い、必要に応じて計画を見直しています。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	8	0	自立支援・個別ニーズ対応・集団適応・地域参加等を組み合わせ、子どもに合わせた支援を展開しています。	
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	自分で選べる機会を設け、自己決定の力を育てています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	2	現在は未対応ですが、子どもの状況を踏まえ、職員の関与の在り方を検討します。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	医療的ケア児は現在いませんが、必要時に備え関係機関との連携体制を整えています。	現在、医療ケアを必要とする児童がいないです
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	学校と情報共有し、下校時刻や送迎の調整を適切に行っています。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	2	今後さらに連携を深める取組を進めています。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	4	該当児童はいませんが、将来的な移行支援に向け情報提供の方法を検討します。	現在該当児童がいない
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	2	現在は実施していませんが、必要に応じ助言や研修機会の確保を検討します。	
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	8	0	系列教室との交流は行っており、今後は地域交流の機会も広げていきます。	
	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	5	3	現時点では未参加ですが、今後は自立支援協議会への参加を検討します。	
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	日々の様子を保護者と共有し、発達状況の理解を共通化しています。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	4	現状は未実施ですが、家族向け研修や情報提供の機会を検討しています。	
機 構 の 運 営	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	運営規程、支援内容、利用者負担について丁寧に説明しています。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	子ども・保護者の意向を尊重し、計画作成時に確認の機会を設けています。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	計画を提示しながら支援内容を説明し、保護者の同意を得ています。	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	ご家族の悩みに寄り添い、面談や助言を通して支援しています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	3	ニーズを踏まえ、現時点では保護者会や交流支援は実施していません。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	苦情対応の体制を整え、周知のうえ迅速に対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	HPやSNSを活用し、必要な情報を積極的に発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	個人情報管理を徹底し、適正な取扱いに十分配慮しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	分かりやすい伝え方を工夫し、子ども・保護者に寄り添って対応しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	3	現在は未実施ですが、地域交流の機会づくりを検討しています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	各種マニュアルを整備し、周知徹底と想定訓練を実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	BCPを整備し、災害時を想定した訓練を継続的に行ってています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	健康状態を把握し、服薬や発作時の対応を事前に確認しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	医師の指示書は未提出ですが、安全面に配慮した対応を行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	安全計画を策定し、研修・訓練を通じて安全管理を徹底しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	安全計画に基づく取組を家族へ周知し、連携して安全確保に努めています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	事例を共有し、安全対策を強化して再発防止を徹底しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	研修機会を確保し、虐待防止に向けた適切な対応を行っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	身体拘束はやむを得ない場合に限り組織として判断し、事前に説明・記録しています。	